



【月曜朝会の話 12月③】

『〇年生らしくなったね……。』

「これから朝のあいさつをします。」(6年生当番)「はあい。」(1, 2年生を中心に……)
「おはようございます。」 (おはようございまあす。)

久しぶりに校庭の月曜朝会ですね。青空と芝生、寒いけど気持ちがいいですね。

さて、今6年生の代表の人が元気にしっかりと朝の挨拶の声かけをしてくれました。大きな声でみんながそのあとに続けやすいようにしっかりと役割を果たすことができました。とても立派でした。6年生らしく、しっかりとできました。

さて今日は、「〇年生らしく。」という話をします。

最近、6年生がとても6年生らしく立派になってきたな、といろいろな場面で思うのです。つい先日の避難訓練もそうだし、朝の登校の時にも笑顔で挨拶できたり、話をしっかり聞いてくれたり、近くにいる年下の子が困っていると黙って手を貸してあげたり……。ひとつひとつはごく当たり前のことかも知れないけれど、その当たり前のことが気持ちよくできる。これは素晴らしいことだと思うのです。6年生ばかりをほめていたとしても、これはどの学年の人たちにも言えることなのです。5年生も5年生らしくなって話の聞き方が変わりました。もうすぐ6年生になるんだなあ、ということが感じられます。4年生も4年生らしく高学年らしい思いやりのある行動がとれるようになってきています。3年生も去年まで2年生だったとは思えないほど、大きくたのもしくなりました。2年生ももうすぐ3年生だなあ、何でも自分でしっかりできるんだなあと感心します。1年生もついこの間までとは大違い、もう年長さんとは違います。すっかり小学生らしくなって、もうすぐ黄色い帽子もとれて、ランドセルの黄色いカバーもとれて、来年には2年生、弟や妹ができるんですね。どの学年も今の学年のあたり前のことがちゃんとできて、6年生はもうすぐ中学生です。去年のこと、おととしのこと、そして、高学年の皆さんが低学年だった頃の様子を思い出して、「こんなに大きく、たのもしくなったんだ……。」と、つい考えてしまいます。

前にも話しましたね。

「大きくなるということは、できるようになったことがふえること。

そして、いろいろなことができるようになったということは、

やってはいけないこと、やらなければいけないことがふえた、ということ。

そして、大きくなるということは

じぶんよりもちいさな子がふえるということ。

だから、少しずつがまんをして、年下の子のめんどろを見たり、あたり前のことをあたり前にがんばれたりできるようになること。」なのですよ。

6年生はもちろん、6年生ばかりではなく1年生も2年生も、3年生も4年生も、5年生も、今の学年のあたり前のことがきちんとできるようになってきて、そんな様子を見るたびに、とっても嬉しくなるのです。

今年ももうすぐ終わり、そして新しい年もまちかです。

今の自分に自信をもって、どの学年の皆さんも来年の新しい自分づくりにそなえてください。
お話、終わります。